

後期 第6学年後半③	単元名：My Best Memory. Unit-7 (We Can!2) 【3/4 時間】
	主となる指導項目：Writing

本時のねらい

- ・小学校の思い出について、写した英語を推測して読んだり、例文を参考にしたりして書いたりする。

【収録されている活動】（◆：本時のねらいにつながる主となる活動）

【食べた物について伝え合おう】

HRTとALTのやり取りを見せ、既習表現に慣れ親しませます



【食べた物について伝え合おう (Small Talk)】

- ☆HRTとALTとのモデルを示し、「やり取り」を明確にする。言葉だけでは児童の理解が曖昧な場合は、絵カードを使用する。
- ☆本時は、書く活動に重点をおくため、児童同士の「やり取り」の時間を取っていない（インプット中心）。（クラスの実態に応じて児童同士の「やり取り」を行うか決めてもよい）

【学校行事の言い方を復習しよう】

学校行事の英語での言い方を繰り返し練習させ、思い出のアルバムを作るための語彙や表現に慣れ親しませます

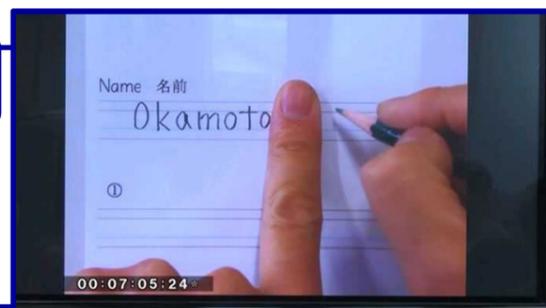


【学校行事の言い方を復習しよう】

- ☆児童のアンケートから、よく選ばれている単語を重点的に復習できるようにする。
- ☆児童のアンケートを基に、これまでに出てきていない単語については、確認し全体で共有する。
 - * temple(寺)、Kinkakuji temple(金閣寺)など
- ☆フラッシュカードを見たら、単語が自然と出てくるようにさせる。リズムをつけ、テンポよく行う。
- ☆文での表現を練習させる。“What’s your best memory?” / “My best memory is…”

◆【思い出のアルバムを作ろう】

これまで書き溜めてきた表現や語彙を丁寧に書き写し、思い出アルバムを作成させます



【思い出のアルバムを作ろう】

- ☆完成したアルバムを提示し、イメージをつかませる。
- ☆間隔の空いていない文を提示し、語と語の間にスペースがないと読みづらいことを説明する。
- ☆4線のワークシートに書き写す際は、語と語のスペースを意識させるために、人差し指一本を間に入れてながら書く様子を、書画カメラで見せる。
- ☆アンケートをもとに作成したワークシートを手本として、書き写させる。（同じサイズにしたり、青線が見えやすいようにしたり工夫する）
- ☆書くことに対して苦手意識を持つ児童もいるため、机間指導をし、4線の幅にアルファベットが書けていない児童や文字が抜けている児童などには声をかける。
- ☆4線のワークシートに書き写している間にALTと共に机間指導しながら、読む練習を児童と一緒にする。（音声と文字を結びつける工夫になる）
- * 机間指導の流れ
 - ①読み方を伝える。
 - ②一緒に読む。
 - ③意味を確認し、分からないときはヒントを与えながら考えさせる。
 - ④もう一度一緒に読む。
 ※読むときは鉛筆などで単語一つ一つを押さえることで、音と文字を結びつけさせる。

* あいさつ、振り返り等は省略しています